



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月2日

上場会社名 株式会社 ロイヤルホテル  
コード番号 9713 URL <https://www.rihga.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田 文一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 坊傳 康真

TEL 06-6448-1121

四半期報告書提出予定日 2023年8月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,683	18.6	4		36		20	
2023年3月期第1四半期	5,752	95.5	1,088		632		638	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 5百万円 ( %) 2023年3月期第1四半期 631百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	1.34	
2023年3月期第1四半期	62.36	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	31,083	18,948	61.0
2023年3月期	32,105	18,942	59.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 18,948百万円 2023年3月期 18,942百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,500	14.8	300		300		300		28.22
通期	22,000	16.7	500		200		100	99.2	9.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	15,303,369 株	2023年3月期	15,303,369 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	29,673 株	2023年3月期	29,650 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	15,273,707 株	2023年3月期1Q	10,242,145 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(収益認識関係) .....	7
3. 補足情報 .....	8
生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行され、経済活動が正常化し緩やかな回復の兆しが見られました。一方、長期化するウクライナ情勢や円安による原材料・エネルギー価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、インバウンド需要の増加や企業業績の向上などによる人流の回復により、持ち直しの動きが見られるものの、完全な回復と言える状況には至っておりません。さらに原材料費・光熱費をはじめとした各種コストの上昇により、引き続き厳しい事業環境下に置かれております。

こうした環境下、当社グループは2023年3月31日に実施したリーガロイヤルホテル（大阪）の土地、建物の信託受益権等の譲渡、ベントール・グリーンオーク・グループとの資本業務提携後も、「生産性と業務効率の向上」を柱に、「ホテルビジネスの再構築」、「マーケティング力の強化」、「人事運営の改革」に取り組んでまいりました。

ホテルビジネスの再構築の一環として、2023年4月に京都市内に3軒目となる新ホテル「リーガプレイス京都四条烏丸」を開業いたしました。地下鉄「四条」駅から徒歩2分と交通利便性に優れ、観光・ビジネスの拠点として便利な宿泊主体型のホテルです。また、同月に外部出店レストランとして、大阪大学中之島センター内に「カフェテリア・アゴラ」、「サロン・アゴラ」をオープンいたしました。大阪大学の文化・歴史と芸術が織りなすコミュニケーションスペースで、ホテル拘りの料理やデザートをお楽しみいただけます。

「人事運営の改革」については、全社員を対象としたベースアップを行い、処遇の改善を実施いたしました。さらに、より働きやすい職場づくりのため、ダイバーシティ推進を主な目的としたプロジェクトチームを発足させ、新たな活動をスタートさせました。また、インバウンドを始めとした回復基調にある需要を最大限取り込むため、新規採用や外国人採用を強化いたしました。

このように、今後の収益拡大施策を進めながら足元の需要回復に対応し、収益の改善に注力してまいりましたが、リーガロイヤルホテル（大阪）の土地、建物の信託受益権等の譲渡と同時に運営受託契約を締結したことにより収益構造が大きく変化したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は、4,683百万円と前年同期比1,069百万円（18.6%）の減収となりました。

損益面では、営業利益4百万円（前年同期は営業損失1,088百万円）、経常利益36百万円（前年同期は経常損失632百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は20百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失638百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,021百万円減少し31,083百万円となりました。内訳では流動資産が同1,033百万円減少し16,272百万円となりました。これはリーガロイヤルホテル（大阪）の運営受託契約の締結等により収益構造が大きく変化したため、売掛金が801百万円減少したこと等によります。固定資産は同12百万円増加し14,811百万円となりました。これは保有株式の時価上昇により投資有価証券が35百万円増加したこと等によります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,027百万円減少し12,135百万円となりました。これは未払消費税等が951百万円減少したこと等によります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5百万円増加し18,948百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金の増加等によります。これにより自己資本比率は、前連結会計年度末の59.0%から61.0%になりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績につきましては、2023年5月12日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,363	13,588
売掛金	2,045	1,243
原材料及び貯蔵品	307	332
その他	590	1,108
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,305	16,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,058	6,063
減価償却累計額	△5,737	△5,746
建物及び構築物（純額）	320	316
リース資産	346	346
減価償却累計額	△264	△275
リース資産（純額）	82	70
その他	1,929	1,809
減価償却累計額	△1,518	△1,395
その他（純額）	410	414
有形固定資産合計	812	801
無形固定資産		
ソフトウェア	264	256
その他	1	1
無形固定資産合計	266	258
投資その他の資産		
匿名組合出資金	1,500	1,500
差入保証金	11,916	11,916
繰延税金資産	2	4
その他	311	342
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	13,720	13,752
固定資産合計	14,799	14,811
資産合計	32,105	31,083

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	726	408
契約負債	607	637
賞与引当金	388	208
その他	3,665	3,210
流動負債合計	5,387	4,464
固定負債		
繰延税金負債	19	29
退職給付に係る負債	5,330	5,250
長期預り金	2,357	2,343
その他	68	46
固定負債合計	7,774	7,670
負債合計	13,162	12,135
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	10,342	10,342
利益剰余金	8,591	8,571
自己株式	△61	△61
株主資本合計	18,972	18,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	71
退職給付に係る調整累計額	△76	△74
その他の包括利益累計額合計	△29	△3
純資産合計	18,942	18,948
負債純資産合計	32,105	31,083

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	5,752	4,683
売上原価	1,309	718
売上総利益	4,442	3,964
販売費及び一般管理費		
水道光熱費	490	330
人件費	2,454	1,655
諸経費	2,586	1,973
販売費及び一般管理費合計	5,531	3,959
営業利益又は営業損失(△)	△1,088	4
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
ポイント失効益	9	23
雇用調整助成金	366	-
協力金収入	154	-
その他	7	4
営業外収益合計	542	31
営業外費用		
支払利息	86	-
その他	0	0
営業外費用合計	87	0
経常利益又は経常損失(△)	△632	36
特別損失		
固定資産除却損	2	29
減損損失	0	28
特別損失合計	2	57
税金等調整前四半期純損失(△)	△635	△21
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等調整額	△0	△4
法人税等合計	3	△0
四半期純損失(△)	△638	△20
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△638	△20



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△638	△20
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	23
退職給付に係る調整額	15	2
その他の包括利益合計	6	26
四半期包括利益	△631	5
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△631	5

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、感染症の広がりや収束時期等の不透明感が強いことから、2023年度においてもまだ一定の影響を受けることを前提として、繰延税金資産の回収可能性等を検討しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
客室	1,540	1,737
宴会	2,082	1,135
食堂	1,206	656
その他	709	1,090
顧客との契約から生じる収益	5,539	4,619
その他の収益	213	63
外部顧客への売上高	5,752	4,683

(注) 「その他の収益」は、リース取引に関する会計基準に基づく不動産賃貸収入等であります。

## 3. その他

生産、受注及び販売の状況

部門別売上実績

(単位 金額：百万円、構成比：％、増減比：％)

部 門	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		比 較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減比
客 室	1,540	26.8	1,737	37.1	196	12.8
宴 会	2,082	36.2	1,135	24.2	△947	△45.5
食 堂	1,206	21.0	656	14.0	△549	△45.6
そ の 他	922	16.0	1,153	24.7	230	25.0
合 計	5,752	100.0	4,683	100.0	△1,069	△18.6

(注) 受注生産は行っておりません。